

平成28年 7月22日

各関係大学長・学部長・研究科長 殿
各関係研究所長 殿

静岡県立大学学長
鬼頭 宏 (公印略)

助教の公募について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび静岡県立大学食品栄養科学部では、食品生命科学科 微生物学分野（大学院食品栄養環境科学研究院兼務）の助教の採用を行うことになりました。つきましては、下記要領をお含みの上ご応募いただきたく、関係各位への周知方宜しくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

記

- 1 職名 助教
- 2 任期 5年の任期付。2回に限り再任可。再任の場合の任期は3年、再々任の場合の任期は2年。
(ただし、5年の任期に再任と再々任を加えた通算の任期は、平成25年4月1日以降の静岡県立大学法人との最初の労働契約日（更新を含む。）から起算して10年を限度とする。)
- 3 所属 食品栄養科学部 食品生命科学科 微生物学研究室
大学院食品栄養環境科学研究院
食品栄養科学専攻（博士前期課程）、薬食生命科学専攻（博士後期課程）
- 4 資格 博士の学位を有すること（取得見込みを含む。)
- 5 専門分野 微生物学
- 6 担当科目 以下の科目を分担して担当する。
学部：微生物学・食品衛生学実験、食品生命科学実験Ⅱ、微生物学、免疫学、
食品生命科学英語Ⅱ、卒業研究
大学院：微生物学特論、食品栄養科学特別演習Ⅰ、食品栄養科学特別実験、
薬食生命科学特別実験
- 7 特記事項 微生物学分野において顕著な貢献がみられる研究業績を有すること。
教育においては、管理栄養士国家試験科目も担当することから、応用微生物学のみならず、
感染症やアレルギーなどの病原性微生物学や免疫学の知識・経験を有することが必要。
研究室の主任教員と協力して研究室運営にあたり、研究室に配属された学生の進路・
将来に関心を持って指導をし、大学の業務に責任をもって取り組む人材を募集する。
- 8 着任時期 平成29年4月1日（予定）

9 提出書類（用紙はA4版を使用）

- (1) 履歴書（写真を貼付し、署名または捺印） 1通
高校卒業以降の履歴を記載すること。
- (2) 研究業績目録（欧文と和文を区分して記載すること。主要論文3編には○印を記載のこと） 1通
(a)原著論文 (b)総説 (c)著書 (d)その他（学会招待講演等） に分け、それぞれ現在から順に発表年次を過去に遡って記載のこと。
- (3) 主要原著論文の別刷 各1部
3編以内。ただし、過去10年間に発表した代表的なもの。最近の邦文総説がある場合には、それを3編の他に提出することが望ましい。
- (4) これまでの教育実績及び研究業績あるいは実務経験の概要（1,000字程度） 1部
- (5) 今後の教育・研究に関する抱負と展望（1,000字程度） 1部
- (6) 研究助成金等の採択状況（代表・分担の別を記載） 1部
- (7) 学会等における活動状況、学会賞などの受賞、国際会議での活動、特許、その他特記すべき事項 1部
- (8) 応募者に対する所見をいただける方2名とその方の連絡先（所属、住所、電話番号等） 1部
- ※ 選考の過程でプレゼンテーション・面接をお願いする場合があります。

10 締切り期日 平成28年10月24日（月）午後5時（必着）

提出および問合せ先

〒422-8526 静岡市駿河区谷田5-2番1号

静岡県立大学 教育研究推進部広報・企画室 大石 忠男 宛

電話 (054) 264-5106（事務局）

E-mail tyous6@u-shizuoka-ken.ac.jp

注）書類郵送の場合は書留とし、「教員応募関係書類在中（微生物学分野）」と朱書きのこと。

11 その他

- (1) 応募書類は、原則として返却いたしません。原著等で返却を希望される場合は、応募者の費用負担により返却しますので、返却を希望する旨を明記の上、郵便切手を貼った返信用封筒又は着払い扱いの宅配便の宛名ラベルを同封してください。
- (2) 提出いただいた書類は、厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって廃棄します。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。